



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail: mirai@honda-yoko.com
http://www.honda-yoko.com



牽せの手

よみの一般質問報告

— 平成26年第4回幸手市議会 —

**①市の危機管理
市の夜間体制の
有人化はいつ？**

経緯

平成25年9月議会の一般質問で、市役所の夜間体制の無人を本田ようこが指摘。「早急の有人化を検討を」との答弁でした。

答 平成27年3月をもち、幸手消防署の指令室が久喜本署へ移転。

平成27年度から有人による夜間体制が実施となる。

内容は、休日業務・出生死亡届・緊急時の職員への連絡・夜間の庁舎内巡回・鍵の管理。

***台風などの大雨の場合、冠水道路の情報を緊急情報として市のホームページへ公開を！**

リアルタイムで出せるよう研究し、メールでも発信していきたい。
←
なるだけ早く出来るよう、やる方向で検討する。

**②防災訓練は
このままで
いいのですか？**

現状

年一回小学校区単位の地域で行い地域防災力を高める。

問題点

同じ区域で、次の訓練に9年かかるが、今後も継続していきたい。将来は自主防災組織の市民を中心とした訓練を支援したい。

市職員の防災訓練は？

災害対策班では避難所運営ゲームHUGを行い、全体では初動訓練を行う。



市職員は実際に動けるのでしょうか。シミュレーションも必要でしょうか。実際に動いて体で覚えないと動くことは難しいと思います。
*まずは全職員に防災ヘルメットを配布し、身近に常備するように！
職員の自助無くして市民を救うことは出来ません。

**③市の催しには
「託児」が必要では？**



現状

母親学級や離乳食講習会に、母子愛育会や社会福祉協議会に個人登録している託児ボランティアの協力を得ている。

託児サービスは、子育て世代に有意義で必要なこと。

市の主催、共催、後援などの催しに「託児」は必要ではな
いか？

答 市の主催の中から託児サービスを整備していきたく
と思う。

**④子どもの携帯・
スマホには規制
が必要では？**

子どもの使用状況

小学生では4割、中学生では7割が携帯電話やスマホを所持している。

小学生は電話やカメラ、メールを使い、中学生はラインやゲーム、SNSを使う。

学力や生活全般の影響

生活習慣の乱れ、睡眠不足で落ち着きがないなど、学力低下を及ぼす。

本年度全国学力学習調査でも、幸手市も同様、長時間使用する子どもは正答率が低い。

子どもたちを守る為、使用時間の規制などを含んだ幸手市独自の条例化は？

市長 危惧している所です。弊害やリスクもあるが、個人の事情や権利を侵害する可能性がある。使用により悪影響を及ぼすことのないよう、より一層の啓発に努めます。



※スマホ・スマートフォン

⑤ 高齢者が使える公民館とは？

高齢者が元気で活動できる居場所としての公民館活用の考えはあるのか？

答 高齢者のみなさまに、いつまでも明るく元気に暮らしていただく為にも、どのような役割を担うのか大切なテーマである。

新たな生きがいや人間関係を構築していただく為、各種講座の申込やクラブ活動参加の促進を図っていきたい。また、高齢者の方々のご負担いただく費用についても研究していきたい。

■これからの対策

現在、70団体が活動しており、随時新規加入受け入れ可能。様々な講座等を実施し、高齢者のみなさまの活動の場として利用していただけるよう努めます。また、施設のPRや気軽に来られる談話スペースの確保も検討する。

高齢者の団体も使いやすい、高齢者のひとり暮らしの方には、居場所的な場であつてもよい身近な公民館を！

⑥ どうする？夜使えぬAED

前回9月議会の本田ようこ一般質問にて、幸手市の施設で夜間に使えるAEDは無いことがわかり、早急に対策を要望した。

■進捗状況

コンビニへのアンケートを取ったところ、コンビニ独自の設置は難しい。先進地では市が財政的支援をしていることなどを参考に、市として設置が出来るよう検討している。

市の方で設置し、コンビニで管理してもらえるのか、意向調査をする。

また、前回、市のホームページにあるAED設置場所一覧についても、見づらいつことから、地図に示すことと使用可能な時間を明記することを要望した。

市のホームページ、向かって右端「AED設置施設」をクリックすると、一覧表も地図にも使用可能な時間がわかるようになりました。是非、ご覧ください。

⑦ こどもの3学期制導入は

10年前、2学期制の導入については最後まで反対で、教育委員会へ抗議に伺ったのは忘れません。

そして、平成25年12月議会では、当時の戸田教育長から「学期制については、教育委員会で検討を重ねる」ことを約束していただきました。

■経緯

平成26年度に入り、学期制検討委員会を立ち上げ、9月16日までに計6回の会議を開催。2学期の検証やアンケートの集計と分析などを行い、総合的に検討委員会としての考えをまとめ教育長に報告書を提出。これを受け、10月11日定例の教育委員会で2学期制のあり方や管理規則等を見直す。

平成27年4月より新たな3学期制がスタート



今年を振り返り

今年もあと僅かとなりました。みなさまにおかれましては、新年に向けての準備で、何かと慌ただしい毎日をお過ごしのことと存じます。

今年は、4回の幸手市議会定例会と、議会改革として幸手市議会基本条例制定に向けて特別委員会を21回開催し、10月下旬には幸手市議会基本条例説明会を3回開催しました。

市議会として市民に向き合い意見をいただくことは、初めてのことでした。

私個人では、議会ごとに計4回この広報紙「幸せの手」を作成・配布しました。

また、5月上田知事県政報告会へ参加し、改めて面談の機会もいただきました。8月は全国市議会議長会研究フォーラム(岡山)に参加、下旬にはローカルマニフェスト埼玉県勉強会に参加、10月は全国都市問題会議(高知)に参加等、まだまだ書ききれません。

このように沢山の視察と勉強する機会をいただきましたことを、みなさまに感謝致します。ありがとうございます。

来年も頑張ります！



秩父夜祭

そこには秩父のみなさんの誇りがありました。郷土愛がありました。



よいお年をお迎えください！